

2022. 2. 15

令和4年笛吹市議会第1回定例会の告示に伴う
記者会見質疑応答（要約）

■記者

御坂中学校校舎等改修事業1億3,310万円について、どのようなことを新年度にするのか。また、今後のスケジュールはどのようになっているのか教えてください。

■市長

大規模改修を行います。浅川中学校と連続して実施します。

■財政課長

御坂中学校は昭和46年に建設されています。令和4年度の事業は、まずアスベスト等の調査ということで窒素測定調査等を行うことになっています。令和5年度以降については、仮設校舎の建設工事、校舎等の改築工事となっています。

■市長

浅川中学校はスケルトンで柱を残して、柱に強度を入れてその上に造っていく。御坂中学校は、建て直しという形で打合せをしています。

■記者

体育館は大丈夫ということですか。

■市長

体育館は、平成30年の台風の際に屋根が飛ばされ改修したばかりなので、当面改修はありません。

■記者

お試し住宅の終了については、どのような内容ですか。

■市長

利用者いないということです。

■記者

どのくらい住宅は用意してあるのですか。

■企画課長

お試し住宅は当初は芦川に3か所ありました。そのうちの鶯宿のお試し住宅については、令和2年度に解体をしています。今年度、今から上芦川のお試し住宅を解体する予定です。そして来年度に新井原のお試し住宅を解体する予定です。

施設の老朽化と移住定住の効果に結び付いていないので、今回条例の廃止と住宅の解体を進めています。

■市長

お試し住宅をわざわざ造らなくても、芦川には空き家がたくさんある。貸していいという人たちもいると思うので、そういうものを利用して移住定住を進めていく。新道峠も、将来的にはこんないいところがあるのだから芦川に住んでみようかというところにつなげていくのが目的。

支所で空き家の所有者に当たってみてお試し住宅として利用できるような住宅を探すよう指示している。

■記者

完全な空き家でお試し住宅のように老朽化していないものを洗い直すということですか。

■市長

そういうことです。

■記者

新道峠について、新年度はどんな整備事業を行う予定ですか。

■市長

道路です。

■財政課長

道路の改良工事の予算については、土木課のほうで予算計上しています。重点事業として計上している新道峠展望台環境整備事業の6,392万円については、主にバスの送迎運行委託料となります。あとは、トイレの維持管理料などになります。

■市長

バス代は、7か月で4,300万円くらいになります。

■記者

秋にFUJIYAMA ツインテラスに行ったときに、バスが混んでいてびっくりしたが、運行本数を増やしたり、バスを大型にするなど計画はしていますか。

■市長

いろいろ考えてはいます。

混雑が予想される時間帯には2台運行させるなど、観光でも考えているところです。今年度はお試して送迎バスの運賃は無料でしたが、来年度は有料となります。往復で400円です。4月25日から11月28日までの7ヵ月間で、7~8万人が訪れてくれると嬉しいです。

■記者

新年度予算の目玉はなんですか。

■財政課長

来年度の重点事業が35事業、うち新規事業が10事業あります。主なものは、私立保育所完全給食化事業、安定して食事を確保できない子どもやその家庭に食料品を届ける笛吹市子ども家庭支援事業などです。

■市長

まず、私立保育所の完全給食化。今は主食のご飯は持ってきてもらっているが、それをやめて、全部こちらで用意するようにします。

金額的には、御坂中学校の校舎改築事業が大きなところです。

みんなの広場及びさくら温泉通り賑わい創出事業で、温泉街に大きくイルミネーションをします。175本ある木に、12月1日から2月28日まで3ヵ月間、ホワイトとシャンパンゴールドの2色の予定です。すごいと思います。

防災備蓄倉庫整備事業では、3年計画で全指定避難所に防災備蓄倉庫を設置します。

■総務部長

いままでは、各指定避難所で使うための備品や消耗品を置く建物がないので、ある一定のところにもまとめて置いてあったのを取りに行く形だったが、それではいざというときに間に合わない。そこで、それぞれの指定避難に使うものを置く形に改めます。

■市長

全小中学校のトイレの洋式化をリース方式で行います。総予算額は約4億円だけどリース方式で平準化させるから来年度は約800万円でプロポーザルを行います。

社会体育施設等夜間照明設備更新事業で、グラウンドの照明を全部LEDに変えます。これも10年間のリース方式で行います。総予算額は18億7,000万円でプロポーザルを行います。

■記者

新年度の新道峠の集客目標が7~8万人とのことだが、今年度は何人くらいだったか教えてください。

■市長

途中でコロナの影響で運休したりしましたが、約1万3,000人が来てくださったと思います。

■記者

7~8万人というのは、コロナがなければということでしょうか。

■市長

そうです。月1万人来たとして、7万人。
すでに、いつからバスが運行するかなど問い合わせはたくさん来ています。

■記者

多目的芝生グラウンドについて、新年度の見通しや今後どのような取組をしていくのか教えてください。

■市長

4回目まで検討委員会が順調に進みましたが、委員の皆さんに富士河口湖町のくぬぎ平スポーツ公園や富士緑の休暇村のグラウンド施設を見学していただき、事業をやるべきだという雰囲気になりましたが、コロナで会議が止まってしまって市民の皆さんとの意見交換会も2回実施する予定だったができなくなってしまいました。

■政策課長

今後は、3月7日に5回目の検討会を実施し、その後3月18日と3月24日に市民の皆さまの意見をうかがう場を設けさせていただいて、そこでいただいた意見などを検討委員会で検討していきます。来年度については、検討委員会から答申をいただき、市として基本計画を定める予定です。

■記者

新年度中の基本計画策定を目指すということでしょうか。

■政策課長

新年度の早いうちに、基本計画を策定したい。そして先進地などの視察等を行い基本設計に反映していきたいと思います。

以上